

市の財政状況を見てみよう



平成27年度決算と28年度の財政状況が公表されたみたいだけど、市の財政はどうなっているの？

市のマスコットキャラクター
はちかづきちゃん

図 財政課

私が、はちかづきちゃんに分かりやすく説明します。



寝屋川市長
北川法夫

平成27年度 決算

普通会計で実質収支・単年度収支
いずれも12年連続の黒字

平成27年度 会計別決算

(単位：千万円)

区分	一般会計	国民健康保険特別会計	介護保険特別会計	医療特別会計	後期高齢者特別会計	事業特別会計	公共用地先行取得	合計
歳入 (A)	8,181	3,366	1,796	293	11			13,647
歳出 (B)	8,018	3,347	1,766	278	11			13,420
差引 (C) (A) - (B)	163	19	30	15	0			227
繰越額 (D)	22	-	-	-	-			22
実質収支① (C) - (D)	141	19	30	15	0			205
前年度実質収支②	132	10	19	13	0			174
単年度収支①-②	9	9	11	2	0			31



普通会計の実質収支は14億1,300万円、単年度収支は9,100万円と12年連続黒字なんだ。

普通会計って何ですか？



都道府県や市町村の財政状況を比較して把握するための区分のことで、市では「一般会計」と「公共用地先行取得事業特別会計」を合わせた会計のことなんだよ。

12年連続ってすごい！それだけ市の財政は健全なんですね。



水道・下水道事業会計も黒字

図 経営総務課

平成27年度 企業会計決算

(単位：千万円、△はマイナス)

区分	収入	支出	差引
事業			
水道	388	387	1
資本的収支	92	152	△ 60
事業			
下水道	570	558	12
資本的収支	301	511	△ 210

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みです。

水道・下水道事業は市が経営している企業の扱いとなるため、企業会計として算出しています。

水道水を供給する又は下水を処理するための収入と支出のことで、支出の決算額は、水道事業は前年度に比べ、2億3639万4000円増加し、収支は1520万5000円の純利益となりました。

下水道事業は前年度に比べ、8108万4000円減少し、収支は1億2008万2000円の純利益となり補てんしました。

水道・下水道事業は、水道事業は前年度に比べ、3億793万2000円減少、下水道事業は前年度に比べ、8億2644万8000円増加しました。

収入不足額は、水道事業5億9715万2000円、下水道事業2億3103万9000円(内繰越財源2900万円を除く)で、それぞれ内部に留保した資金(減価却費など)などで補てんしました。

水道及び下水道施設の整備や更新のための収入と支出のことです。

支出の決算額は、水道事業は前年度に比べ、3億793万2000円減少、下水道事業は前年度に比べ、8億2644万8000円増加しました。

収入不足額は、水道事業5億9715万2000円、下水道事業2億3103万9000円(内繰越財源2900万円を除く)で、それぞれ内部に留保した資金(減価却費など)などで補てんしました。

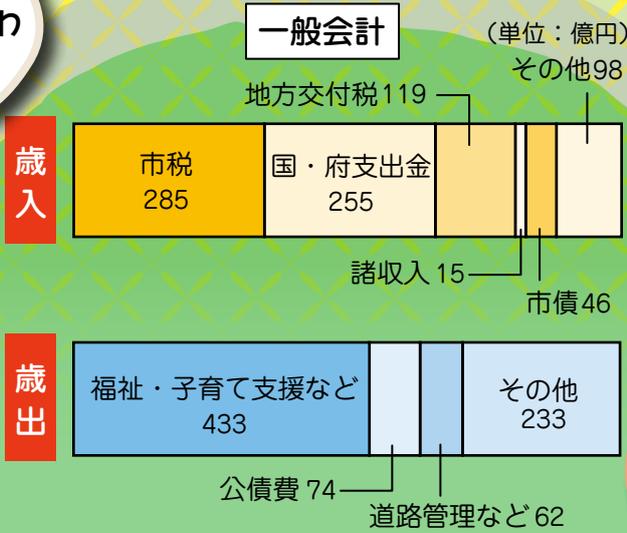
資本的収支



税の使い道

生活に関わりの深い一般会計は、左のような歳入と歳出があるんだよ。

福祉・子育て支援などのためのお金が一番多く使われているんですね。



「負担したお金」と「使われたお金」の差額は国・府の補助金や市債などで賄われているんだよ。

市民1人当たりのお金

負担したお金 **119,391円** 使われたお金 **336,102円**

※1人当たりの金額は、市税決算額(負担したお金)と歳出決算額(使われたお金)を人口で割って算出したものです。

市民1人当たりの一般会計決算(歳出)

※人口は住民基本台帳人口(平成28年3月31日現在)23万8546人です。

民生費 181,497円	公債費 31,046円	土木費 26,195円	総務費 25,199円
 児童や障害者、高齢者の福祉など	 市債(借金)の元金返済や利子の支払いなど	 道路・公園の管理など	 戸籍や住民票など
教育費 25,094円	衛生費 20,496円	消防費 12,174円	諸支出金 10,598円
 小・中学校、幼稚園の維持管理、図書館・体育館の管理運営など	 ごみの収集や処理、各種健(検)診事業など	 消防組合負担金など	 基金(貯金)の積立金など
※その他(市議会の運営、産業の振興など) 3,803円			

安全・安心なまちづくりのために

次のページで紹介します。

私たちが納めたお金は具体的にどんな事業に使われているんですか?

クローズアップ 主な事業

「命を守る」ことを基本として、「子どもを守る」「街を守る」「生活(くらし)を守る」ための施策・事業を推進しました。

今だけじゃなく、未来を見通した事業にも使わなう。

対馬江大利線の整備



小・中学校校舎棟トイレ改修工事



防犯カメラの設置補助



通学路安全対策事業

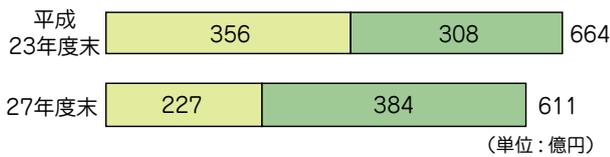


新ごみ処理施設の建設



普通会計市債現在高

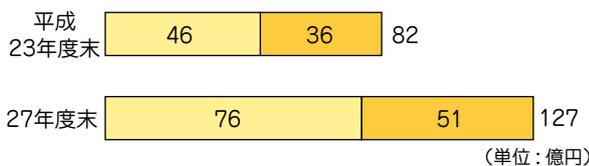
- 普通建設事業債など
- 臨時財政対策債・退職手当債・第三セクター等改革推進債



市債
街路の整備や市立小・中学校などの改修工事のための財源として借り入れています。平成27年度末の市債現在高は約611億円です。

基金現在高

- 公共公益施設整備基金・財政調整基金
- そのほかの基金



基金
特定の目的を達成するために積み立て、その事業の推進のための財源として活用しています。平成27年度は前年度より約20億円増加し、27年度末の基金現在高は約127億円となりました。

いろいろな方法で財源を有効活用していきましょう。

安全・安心なまちづくり対策基金

市民の安全・安心なまちづくりにつながる事業を実施するための基金で、防犯カメラ設置補助や通学路安全対策事業など全12事業で、2,431万925円を充てました。

市民福祉向上基金

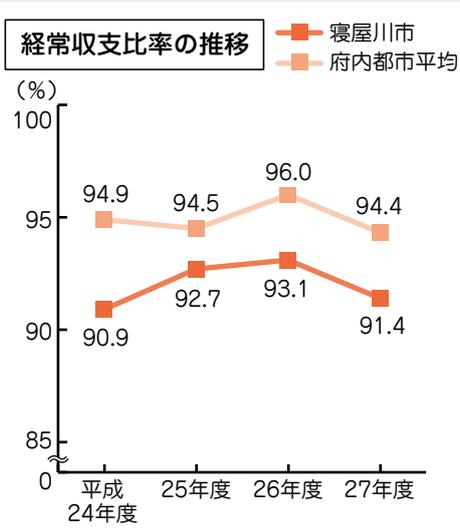
市民福祉の向上を図る新規・拡充事業を実施するための基金で、高齢者バスカードの購入費の補助事業を行い、2,558万2,498円を充てました。



お金の「やりくり」でいろいろな事業を行っています



経常収支比率



経常収支比率は、市税や地方交付税などの自由に使えるお金が、人件費や扶助費などの必ず必要となる経費にどのくらい使われているかを示す割合のことです。この比率が高くなると、お金の使い方の自由度が低くなり、必要がありますね。

市は91.4パーセントで、府内都市平均96パーセントを下回っています。これからは、より一層の健全化を進めていく必要がありますね。

平成28年度の財政状況について見てみましょう。

平成28年度

財政状況

平成28年9月30日現在の財政状況(予算執行状況、財産・市債及び一時借入金の現在高)は右のとおり。公営企業会計を除く全会計の予算執行状況は、歳入が43.3パーセント、歳出が39.4パーセントです。

平成29年度 予算編成方針を策定

平成29年度の予算編成に向けて、基本的な考え方を示す「予算編成方針」を策定しました。

市長のお陰で財政のことがよく分かりました!



詳しくは市ホームページ「財政課」をご覧ください。

平成28年度予算執行状況(平成28年9月30日現在) (単位:千万円)

区分	会計	予算現額	収入済額B	収入率(%)	支出済額C	執行率(%)
		A	(歳入)	B/A	(歳出)	C/A
一般	一般会計	9,204	4,205	45.7	3,468	37.7
特別	国民健康保険	3,445	1,267	36.8	1,568	45.5
	介護保険	1,947	890	45.7	766	39.3
	後期高齢者医療	305	96	31.5	76	24.9
	公共用地 先行取得事業	22	0	0.0	0	0.0
合計		14,923	6,458	43.3	5,878	39.4

区分	会計	収入			支出				
		予算現額A	執行額B	執行率(%) B/A	予算現額C	執行額D	執行率(%) D/C		
公営企業	水事	道業	収益的収支	423	206	48.7	413	131	31.7
		資本的収支	74	1	0.2	134	29	21.5	
	下水道	道業	収益的収支	601	298	49.6	575	153	26.6
		資本的収支	354	91	25.7	584	230	39.4	

※予算現額には、平成27年度からの繰越明許費などを含みます。

財産・市債及び一時借入金の現在高(平成28年9月30日現在) (単位:千万円)

会計	一時借入金	市債	財産(公営企業分除く)	
一般会計	—	5,757	土地	1,396,615㎡
特別会計	—	—	建物	417,780㎡
水道事業会計	—	933	基金	1,276
下水道事業会計	17	5,234		